



広島女学院同窓会神奈川支部便り

第40号 2012年4月27日発

神奈川支部会員数 577名

年間聖句

求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。
門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。

誰でも求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者は開かれる。

ルカによる福音書 11章9-10節

広島女学院創立125周年を祝う会-同窓会関東ブロック主催

賑やかに母校の発展を祝う

2011年10月29日(土)東京品川プリンスホテル メインタワー「オパール」にて



140名参加の盛大な
会に

しかし当日は、広島から黒瀬理事長・院長、長尾学長、星野中高校長、古屋

広島女学院創立125周年を祝う会は、関東ブロックの4支部長、副支部長が実行委員となって、また、それぞれの支部の中でも話し合い、東京支部が中心となって企画をすすめてきました。その間には、3.11の大震災や原発事故があり不安を抱きながらの準備となりました。



由利子同窓会長（西川／大英14）、片山美代子先生、西元院長がご出席くださり、総勢140名の盛大な会となりました。

司会の滝口京子さん（白井／高23・文英）による開会宣言で会は始まりました。藤井幸子さん（財満／高14）

のお祈り、黒田尚子さん（丸本／高31）の奏楽による讃美歌90番と294番で開会礼拝を行ないました。





震災義援金の報告も

ご挨拶された同窓会長の古屋さんから、同窓会も加わった広島女学院からの震災

義援金は福島市の桜の聖母学園の里親制度に使われることになったとの報告がされました。

黒瀬先生の厳かな食前の祈りがされ、西先生の乾杯のご発声で会食に。テーブルごとの和やかな歓談が広がりました。

元の女学院に！

長尾学長はご挨拶で、着手された学校の改革について話されました。まず、学生も職員も全員が胸に校章をつけることにしたこと、



アメリカから若い優秀な人材を得て本当の英語が学べるようにすること、同窓生も利用できる20名宿泊可能なホテル（アイリスハウス）を作ること、障害のある生徒を受け入れること、放射能から避難する東北の学生を2年間限定学費免除で受け入れることなどを話されました。「絶対に元の女学院に戻します」と決意を述べられました。

ゲーンズ先生は 不言実行の人

星野校長は、自ら女学院との縁が深いことを話され、ゲーンズ先生が「日本語



も讚美歌もお上手ではなかった。不言実行の人、人の眼に触れぬご自分の部屋で真摯に祈られる方であった」事を、児玉弥三郎氏の文章の中にあつたとご紹介くださいました。

本当の才能は水面下

中・高の世界史の片山先生は、早期退職され現在は小説家（ペンネーム葉山弥世）として活躍されています。



先生は、みなさんの現在の才能は氷山の一角で、本当の才能は水面下にあり、やる気次第で才能は更に発揮できること、また、人生には限りがあるので、一刻一刻を輝かせてと語られました。

そして、サプライズ！！



現在、ミラノを拠点にオペラ歌手として活躍されている岡崎智恵子さん（高22）が、「伴奏なしで歌うのは生まれて初めて」

と、プッチーニのオペラ「ジャンニ・スキッキ」より「私のお父さん」を熱唱くださいました。参加者一同このサプライズに大感激でした。

広島に女学院ありあやめ咲く

高林真澄さん（大下／高25）が口述筆記された片柳寛元院長からの温かいメッセージをご紹介くださいました。「女学院の教師でいて良かった。ありがとうありがとう。」と。

女学院同窓生の歌をご存知ですか？

女学院同窓生の歌「どんなに時が流れても」を全員合唱しました。初めて歌う参加者がほとんどでしたが、まるで練習したかのような歌声が会場に響き「さすが女学院生」でした。



校歌斉唱の後、実行委員を代表して関東ブロック長坂下恵さん(杉田/文英1)が感謝の言葉を述べられ、同窓会活動への積極的な参加、支部会費納入のお願いをされて、閉会のご挨拶とされました。

二次会の会場は満員に

祝う会の散会后、メインタワー39階の「トップオブシナガワ」に二次会会場が準備されていました。そこにはなんと約70名が参加し、しばらくの間、同窓会の続きとなりました。

多くの方が参加され準備した席が満席となり、残念ながら帰られた方もありました。

黒瀬院長からのプレゼント

今回、黒瀬院長から冊子「125年と人に学ぶ」を黒瀬禎子様より「広島女学院の人(一)」を出席者全員に贈っていただきました。

いつまでも名残惜しい気持ちのする会でした。神奈川支部からの参加者のみなさんも、久しぶりに会われた同期の方々

と歓談しきりでした。



文章は東京支部ニュースの報告を参考にさせていただきました。

写真：三輪智恵美(高24)

「寄り添うことから」

立野泰博（日本福音ルーテル教会事務局長
広島女学院大学学校協力会会長、理事評議員）

新しい年がやってきました。「あけましておめでとう」という言葉を重く感じる年明けでした。現在、石巻市にて東日本大震災救援で仮設支援をしています。昨年は、広島女学院同窓会の皆さまからの義捐金を預かり、福島にある桜の聖母学院に届けさせていただきました。心から感謝いたします。

広島女学院には娘たち2人が学んでいます。その関係で、キリスト教の牧師でもあり、学校協力会の会長、そして理事評議員の役をいただいています。長尾ひろみ学長の力強いリーダーシップのもと、協力会も新しく変革していく女学院のために一緒に走っています。とくに女性の視点、そして母親としての視点を持っておられる長尾学長と共に、広島女学院の新しい旅立ちを喜んでいます。

今回、東日本大震災救援活動の中でとくに心に刻んだことは「親の思い」でした。私たちは児童74名教諭11名が津波で流された大川小学校の地域で仮設支援活動をしています。小学校の前を何度も通るたびに、学校は学びの場である以上に、子どもたち命を預かっている場だと教えられます。その命を守り、育む責任があるとも教えられています。慰霊碑には子どもを亡くされた親の手紙が置いてあります。「100日たったいまも、会いたくて、会いたくて、会いたくて、会いたくて・・・」。こんなに深い思いを親はもっています。「〇〇ちゃん。あなたは

一人ではポニーテールできなかったでしょう。いま誰にやってもらっているの」「お



かあさんと一緒じゃないと眠れないでしょう。一人で寒くないの」「手紙をもらったら返事を書くことは約束だったよね。夢にでてきて返事くださいね」と。愛する子どもたちを天におくった親たちの愛の深さを感じます。「お父さん、お母さんはまだ悲しくて歩けません。でも少しずつ少しずつ前に進んでいきますね」と。遺された親たちは、悲しみ苦しみを超えて前に進まねばなりません。その一歩を踏み出していただけるように、寄り添うボランティアがいます。

私たちが教えられていることは「寄り添う」ということです。神様がどんなときも寄り添ってくださっているように、私たちも寄り添うことから始めます。「いつまでいてくれるの」「わすれないでね」という言葉を聞くたびに寄り添うことの大切さを教えられます。

広島女学院も命に寄り添う学校であってほしい。同窓会の皆さまも建学の精神に立って苦しむ悩む人たちに寄り添う人であるように願います。

「東京支部ニュース 58号より転載」

2011 年度神奈川支部年間活動報告 2011.4.1～2012.3.31

支部活動

- * 支部便り 39号 (5月)
- * あやめ会 6月 16 日 (木)
「なだ万賓館 横浜店」にて会食 7名参加
- * 敬老の日 9月 75才以上の会員123名に、折り紙手作りカードを送る
- * クリスマス会 12月13日 (火)
「ダイニングライブハウス ヤンキイス」にて 31名参加
梅宮玲子 (天野 高24回卒) さんによるシャンソンリサイタル
- * 役員会 4回
- * その他、編集会議、行事打ち合わせ等

関東ブロック行事への参加

- * 夏雲の集い 7月4日 (月)
・ 日本基督教団 王子教会にて 57名参加 (神奈川支部 5名)
原爆被爆者追悼礼拝 大久保正禎牧師
合唱 アッシジの聖フランシスコ「平和の祈り」 有志
シャンソン「ヒロシマ」 梅宮玲子 (天野 高24)
- * 女学院創立125周年を祝う会 10月29日 (土)
品川プリンスホテル メインタワーにて 140名参加 (神奈川支部 27名)
- * 支部長会議 4回 (6月、7月、9月)



神奈川支部の役員-今年度もよろしくお願ひします

| | | |
|-------|--------|---------------|
| 支 部 長 | 梶川由紀子 | (田村 高29 文日11) |
| 会 計 | 陣崎 佳子 | (津田 高29) |
| 役 員 | 三輪智恵美 | (三輪 高24) |
| | 徳久 碧 | (田丸 高24) |
| | 中村 香 | (中川 高35) |
| 会計監査 | 上久保ふじえ | (金子 文英6) |

植野 ふさ子 (三浦 高19 短大18) さん、長年の役員活動
ありがとうございました。

2011年度神奈川支部会計報告 (2011.4.1-2012.3.31)

収入の部

| 科 目 | 金 額 | 摘 要 |
|--------|---------|------|
| 前年度繰越金 | 387,235 | |
| 支部会費 | 350,000 | 前納含む |
| 預金利息 | 82 | |
| 合計 | 737,317 | |

支出の部

| 科 目 | 金 額 | 摘 要 |
|-----------|---------|--------------------------------|
| 会報発行経費 | 150,042 | 印刷代、発送費用 |
| 会議費 | 42,770 | 交通費、会議費 |
| 通信事務費 | 29,550 | 通信費、文具費 |
| 支部活動費 | 91,618 | あやめ会、敬老カード クリスマス会 |
| 関東ブロック分担金 | 97,501 | 震災義援金 夏雲のつどい 創立125周年お祝い会 |
| 次年度繰越金 | 325,836 | |
| 合計 | 737,317 | |

以上、ご報告申し上げます

会計

陣崎 佳子 (陣崎)

会計に誤りはありません

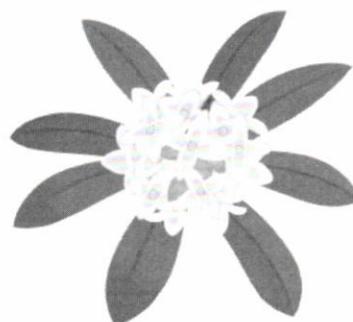
会計監査

植野 ふさ子 (植野)

2011年3月31日

昇天者

水野 清子 (原 高女44)
 黒岩 慧子 (中楨 大英02)
 副島 展枝 (坂本 高25 文英7)
 松尾 敦子 (石川 高25 文英7)
 望月 千恵子 (高橋 高7 短大6)



2011年度年会費納入者名簿

(○は2012年度前納者、□は転出・退会者)

| | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|---------|-------|
| 阿曾千代子 | 奥田哲子 | 小池真津子 | 伊達木優子 | 原和子 | 光畑美紀子 |
| 安部慶子 | 奥谷あかね | 甲山悦子 | 谷口澄江 | 日浦美智江 | 三戸富美子 |
| 阿部昭子 | 小田啓子 | 肥沼章子 | 谷本静子 | 日置昭子 | 宮川千恵子 |
| 池田文子 | 尾田翠 | 五味美都子 | ○玉川慶子 | 日山美和子 | 三宅美代子 |
| 石井玲子 | 小野統子 | 近藤照子 | 常泉由里 | 廣川章子 | 宮島美奈子 |
| 板垣秋江 | 小野雅子 | 近藤恭子 | 寺崎孝子 | 福井範子 | 宮野照美 |
| 市橋信子 | 影本由利子 | 崎長光江 | 照井博子 | 福本恭子 | 三輪智恵美 |
| 伊東朋子 | 景山喜美子 | 佐々井美智子 | 土居郁子 | 藤志保子 | 武藤都喜子 |
| 伊藤郁子 | 影山奈美子 | 佐々木美保 | 徳久碧 | 藤井恵子 | 棟居志津子 |
| 伊藤俊子 | 梶川由紀子 | 佐々木能子 | 飛奈洋子 | ○藤井京子 | 村上洋子 |
| □ 稲野和江 | 梶谷由佳里 | 佐々木智子 | □ 富沢真澄 | 藤本幸枝 | 毛利洋子 |
| 稲葉路子 | 片岡孝子 | 志治保子 | ○ 富嶋尚子 | 船倉たえこ | 森崎真理 |
| 井上京子 | 加藤智由紀 | 志田朋子 | 直井民子 | 古川紀江 | 森崎保子 |
| 植田せつ子 | 金子由美 | 下房地克子 | 中川道子 | 宝沢淑子 | 盛谷喜久満 |
| 植野ふさ子 | 鎌塚寿恵子 | 白蓋美恵子 | 中島多美子 | 堀田弓子 | 森本百合子 |
| 宇多由紀子 | 上久保ふじえ | 新宮英子 | 中浜智枝 | ○ 甫出かおる | 矢島洋子 |
| 内野美喜枝 | 川崎典子 | 陣崎佳子 | 永水正子 | 堀石定子 | 安井紀子 |
| 占部恵子 | 河島富江 | 末次鈴子 | 中道順子 | 増本成子 | 保田公恵 |
| 江口貴子 | 川西朴子 | 末広澄江 | 中村香 | 増本純子 | 安田文子 |
| 大石悦子 | 河東佐千子 | 菅田博江 | 中村恵子 | 松浦貞子 | 矢田昌子 |
| ○ 大木敬子 | 川山和子 | 杉山まどか | 中村由美子 | ○ 松橋紀子 | 山賀美幸 |
| 大越光子 | 菊野裕子 | 鈴木香苗 | 西江由貴子 | 松原淑子 | 山口千寿子 |
| 大沼八重子 | 菊谷哲子 | 鈴木公子 | 西川祝江 | 松本朱美 | 山田雅江 |
| ○ 大原キミ | 北村和枝 | 砂原佳子 | 沼田則子 | 松本清子 | 山邊英子 |
| 大村文江 | 橋田和子 | 妹尾照子 | 野村玲子 | ○ 松本裕子 | 山本憲子 |
| 岡美智子 | 木戸浩子 | 反絹子 | ○ 畠山仁子 | 三上昭子 | 山脇栄子 |
| 岡野直子 | 木原玲子 | 高知尾鮎美 | 濱田篤子 | 見口由美子 | 横山順子 |
| 岡元芳子 | 熊崎玲子 | 高橋恭子 | 早川陽子 | 水谷公子 | 吉田伸子 |
| 岡本典子 | 桑村純子 | 武田雅子 | 林弘子 | 光永悦子 | |

173/577

振り込み用紙を全員の方に同封しておりますが、
85歳以上の会員の方は、名誉会員として会費を免除しております。

2012年度会費(2000円)振込みお願いいたします。

あやめ会に初参加して

白蓋 美恵子（加来 高29）

同期の方が役員でいらっしゃる
ので、安心しておりましたが、ほ
かの方々は初対面のはずなので、
溶け込めるかどうか不安もありま
した。

でもそんなことは杞憂でした。職
場や子供を通して知り合ったお母
さん同士のランチ会とは違って、
出身校が同じというのは座ってい
るだけで安心なのですね。

また、先輩方のご経験やご趣味の
幅の広いこと！！メモを片手にお
聞きしたいほどでした。



しかも、普段行かないようなお店を
設定して下さり本当にリフレッシュ
できました。

役員の方々のセンスとお心遣いが身
にしみます。



* 2011年あやめ会は、6月16日
なた万賓館 横浜店で行われました。
どなたでも参加出来ますので、お気軽
にご参加ください。

~~~~~神奈川支部役員会からのお知らせ~~~~~

このたび、神奈川支部の名簿の見直しをしました。今回の支部便りに、皆様との連絡用
葉書を同封しています。

今後とも皆様の神奈川支部活動へのご参加、ご協力をよろしく申し上げます。

もし、会報不要の方がありましたら、この葉書にてご連絡ください。

その場合は、申しわけありませんが、50円切手のご負担をお願いします。

今まで通り

- ・年会費振り替え用紙通信欄
- ・メール (ijyogakuin.kanagawa@gmail.com)

も連絡用として活用できますので、こちらをご利用いただいても結構です。

2011「夏雲の集い」報告

陣崎 佳子 (津田 高29)



2011年7月4日(月)、関東ブロック主催の原爆死没者追悼礼拝「夏雲の集い」は、始まって以来24回目をかぞえます。

埼玉支部が担当し、東京都北区にある王子教会で行われました。

暑い日でしたが、57名の出席者があり、そのうち神奈川支部からは5名参加でした。



広島から黒瀬院長も参加くださいました。

王子教会、大久保正禎牧師のお話の中で、特に印象に残ったのは、「夕風の街 桜の国」を書いた こうの史代さんの言葉を引用され、「原爆を体験された方々は、その体験を思い出したくないからといって、決して伝えたくないわけではない」ということでした。

こうのさんは、こうも言っています。「死の街と化していた広島が、人々の手によって徐々に復興されていく、その様子を記録

として残してきた人たちの勇気はすごい、と感じたんです。

だからこそ、彼らが言葉にできない思いを、私たちが察する努力をしなくちゃいけない、彼らの代わりに伝えられるものがあるならば、勇気を持って伝えようと思ったんです。」

広島で学んできた私たちは、戦後生まれであっても、原爆を直接知らなくても、その、言葉にならない気持ちをしっかりと受け止め、理解し、後世に伝えて行く義務がある、と改めて強く感じました。



二部では、同窓生有志により、アッシジの聖フランシスコによる「平和の祈り」を



合唱。

また、同窓生の梅宮玲子(天野 高24)さんによる、すばらしい歌声のシャンソン「ヒロシマ」を聴くことができ、感動の一日でした。

神奈川支部クリスマス会&コンサート

2011. 12. 13 (火) ダイニングハウス ヤンキイス (横浜 関内)

常泉 由里 (香川/高24)



讃美歌の伴奏をする常泉さん

何年ぶりかに出席しましたクリスマス同窓会は、梅宮玲子さん(天野/高24)のシャンソンが聞けるという、同期の私にとっては又とない機会でした。



したばかりとの事、残念ながら異国で同窓の方々にお会いする事はできませんでした。

広島を離れて長い年月がたった今、いつまでもあの頃に戻れる同窓会の集まりは、自分が年を重ね



彼女の力強い歌声に励まされ、又、同じテーブルの方々とは、学年の違いを越えて会話を楽しませていただきました。

るごとに、ますます大きな喜びになる事を強く感じた今回のクリスマス会。



女学院時代の思い出とは切っても切れない讃美歌は、あの頃と同じ二部合唱となり、制服姿での礼拝の思い出がよみがえってきました。

こういった会を企画してくださる同窓会役員の皆様には、あらためてお礼を申し上げたいと思います。いつもありがとうございます。



現在、主人の赴任先のロサンジェルスで一年の半分以上を過ごしています。女学院



同窓会ロサンジェルス支部は、諸事情で解散

☆ 今年も美しいカードとお花をお送り下さり、お心使いまことに有難うございます。

クリスマス会などにも、なかなかお伺い出来ず申訳ございませんが、神奈川支部のご発展をお祈り申し上げます。
板垣 秋江 (石口 大英05)

☆ 役員の皆様、今年も敬老の日に、ぬくもりいっぱいメッセージカードを頂きありがとうございます。

加齢の現実は、色々な形で出てきて戸惑ったり、こんなはずでは～と呆れたり、体調不良に悩まされる事も多い日々ですが、ゆるゆると頑張っています。

皆様のお働きの上に豊かなお恵みを心からお祈りしています。

森崎 保子 (佐々木 大英05)

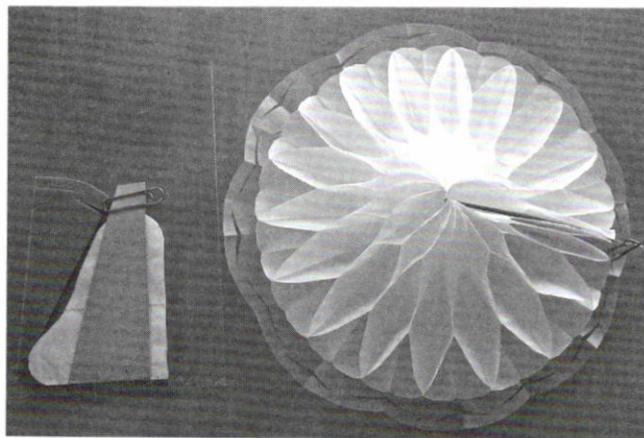
☆ 今年もまた、敬老の日をお祝いしていただき、有難うございました。

そっとあけると、ぱっと開いた見事で華やかな大輪の花！！素晴らしいお手際に目を見張りました。

リビングのメインテーブルに、ピンクの薔薇の小さい蕾をアレンジして飾り、楽しんでおります。

何よりもお心のこもった賜物を心より感謝いたします。

稲野 和江 (稲野 専家25)



今年のしおり

上久保ふじえさん (金子 文英6) 作製

☆ 敬老の日の心のこもったお手紙ありがとうございます。

まだ敬老されるのはピンときませんが、孫が今春大学生になったので、つくづく時がたったのだと感じられます。

在大時代私はクワイヤにはいっており、そちらに毎年寄付をしております。

又、主人は中三のとき、江波の工場で被爆し、小学生の私は、祖母が亡くなりすぐに入市しましたので、原爆の会“はまゆう”に会費をはらっております。

私は広島音高出身で、wilsonの伴奏でヴァイオリンを弾き、地方へたびたび旅行したのが懐かしい思い出です。

吉田 知江子 (佐伯 大英04)



☆ 敬老の日のカードと可愛らしいお花を本当に有難うございます。

いつもお心いっぱい感動いたしております。またお目にかかれますことを祈りながら、お大切にお過ごし下さいませ。

畠山 仁子 (管久 高05)

☆敬老のカード、尊い聖句を頂きまして有難う存じました。

また折り紙も有難うございます。

感謝！！

鈴木 富美子 (福井 高03)

☆ 皆様の温かいお心遣いの「労わりのカード」頂きありがとうございます。

9月7日、75歳の誕生日に後期高齢者の保険証を受け取り、いつもと違う誕生日でした。

仕切りなおし、もう少し頑張らなくてはと思っております。役員の皆様、お忙しい中、色々お世話いただきいつも感謝しております。

照井 博子 (今澄 大英07)

☆ 敬老の日を覚えてお心こもるカードと、花開く素敵なプレゼントをありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

何時も楽しく飾らせていただいております。

大木 敬子 (白石 高女52)

☆ この度は心温まるお便りと、美しいお花のオブジェをお送り下さいましてありがとうございます存じました。

大変嬉しく存じました。心のふるさとはやはり母校と、そこで学んだ同窓生の方々です。今後ともよろしく願います。

越水 紀久子 (内田 大英07)

☆ 今年も又、お心のこもった折り紙(お花)をお届け頂きまして誠にありがとうございました。早速部屋に飾らせていただいております。

私共老人二人、今年も二ヶ月間アメリカで過ごし八月三十一日に帰宅しましたところ、日本の異常な高温の日々、老骨には酷く、悲鳴をあげております。

大橋 睦子 (武林 高女50)

☆ 敬老のお便りを誠に有難うございました。

“そっと花を咲かせて下さい”と心優しいお花が添えられ、暖かい心で満たされました。有難うございました。

私は少々膝を痛めていますが、元気に暮らしております。

川口 玲子 (北村 高07短大06)



建て替えられた
新しい校舎

..... みんなの通信欄

☆ 第39号受け取りました。

よい編集とお手間をありがとうございます。同窓会の支部便りが末長く続きますよう祈念しています。いつも温かい思いが伝わってきます。ご苦労様でした。

武藤 都喜子 (田頭 専英27)

☆ 毛利さま、宝澤さま、武田さま、長い間、心身共にご奉仕下さいましたこと、本当に有難うございました。心より感謝申し上げます。

植野さま、引き続き会計監査、よろしくお願い致します。もうしばらく、いつもの笑顔で、ほっとさせて下さい。現役役員の方々、これからも、どうぞ、よろしく、よろしくお願い申し上げます。

富嶋 尚子 (妙田 大英13)

☆ 色々いつもお世話になっております。一度出席をしたいと思いつながらなかなか果たせません。でも出席したいという気持はいつも持っております。

石井 玲子 (岡野内 短大5)

☆ 役員の皆様の世話に成りありがとうございます。御身おいとく下さいますようお祈りいたします。

甫出 かおる (平田 高9短大8)

☆ 60代最後の夏を迎えました。戦争中に生まれて、戦後はたいへんな時期もありました。今年には東日本大震災が起きて、これからはたいへんだと思います。

お亡くなりになった方々の新盆も近づいていきます。ご冥福を心からお祈りいたします。

盛谷 喜久満 (市岡 大英13)

☆ 「125年を祝う会」参加させていただきます。「神と共に働く者なり」皆様のお陰での125年。これからの10年20年、繋がり、発展を願っています。

永水 正子 (水戸 高20)

☆ 戦後直後の牛田山でのバラックで学んだ私ですが、毎年の会報でめざましい発展を知る事が出来、楽しみでございました。

私も高齢82才となり、お名残惜しい思いで今回退会を致します。永年、皆様にお世話頂き感謝です。皆様の御活躍を祈り上げます。有難うございました。

稲野 和江 (稲野 専家25)



ゲインズ先生の像

☆ 以前、神奈川支部便りでご紹介した、オーストラリア在住の森本順子さんの原爆体験絵本「My Hiroshima」が、広島市内の書店に並んでいました。もちろん入手しましたよ。

伊達木 優子 (和田 高17)

☆ いつも楽しく拝読させて頂いております。金子 由美 (大矢 高22)

☆ お疲れ様です。新しい役員の方々の御活躍に期待しています。植野 ふさ子 (三浦 高19短大18)

☆ 体調不良のためすっかりご無沙汰しております。神奈川支部のお働きを感謝し、皆様のご健康をお祈り申し上げます。

小野 統子 (加納 高6)

☆ 役員の皆様には、何かとお世話になりました、心より感謝申し上げます。

鎌塚 寿恵子 (山根 高女52)

☆ 新メンバーの役員の皆様の御活躍を期待しております。

武田 雅子 (下河原 文日1)

☆ 役員新体制になったのですね。どうぞよろしくお願ひします。また、旧役員の皆様ごくろうさまでした。



武田雅子さん、いつかお会いしましょうね。お元気でね。

奥田 哲子 (切明 短大15)

☆ いつも御世話をし下さり有難うございます。

甲山 悦子 (高月 高18大英18)

☆ 御世話になります。どうぞよろしくお願ひ致します。

鈴木 香苗 (広田 高16)

☆ 今日は朝から梅雨空です。

役員の皆様お元気のことと思います。支部便り、何度も読ませて頂きました。楽しいです。ほんとうに有難うございます。

畠山 仁子 (管久 高5)

☆ いつも会誌を送って下さり、ありがとうございます。楽しみに読ませてもらっています。

佐々木 美保 (石井 高43)

☆ いつも御世話になっています。以前、息子を連れてクリスマス会に参加させていただきただけで、なかなか参加できずにいます。今年こそは...と思っています。

藤井 恵子 (砂田 短大37)

☆ お暑い毎日が続いていますが、いつもお世話さまになっていきます。よろしくお願ひ致します。

岡野 直子 (山崎 高女54)

☆ 御世話になっております。何もお手伝いできなくてすみません。

常泉 由里 (香川 高24)

☆ いつも会報をお送りいただきありがとうございます。125周年おめでとうございます。

山口 千寿子 (牧 短大20)

☆ 今年は大変な年になりましたが、皆さまはお変わりないでしょうか。

安田 文子 (友谷 高8)

☆ いつもお世話になりありがとうございます。

藤井 京子 (角田 高19文英1)

☆ お世話になります。遅くなりまして、すみません。

橘田 和子 (落合 高23)

☆ いつもありがとうございます。

廣川 章子 (角西 高33文英15)

☆ いつもお世話様になり、有難うございます。

玉川 慶子 (古賀 高7短大6)

☆ お世話様です。

板垣 秋江 (石口 大英5)



2012年 あやめ会のご案内

懐石料理をいただきますか

☆横浜・上大岡の名店『花里』で春の庭園を眺めながらのお食事

<http://www.hanasato.com>

Tel. 045-842-0559

上大岡駅より徒歩2分。
窓の外に広がる緑と、のびやかに入り込む光。
四季折々の風景が、目をたのしませてくれます。
吟味された新鮮な食材による生粋の味わい。
料理を楽しむ最高の贅沢を、一緒に！

日 時 6月5日(火) 11:20AM(時間厳守)

集合場所 上大岡1F京急改札口

会 費 4000円 当日集金

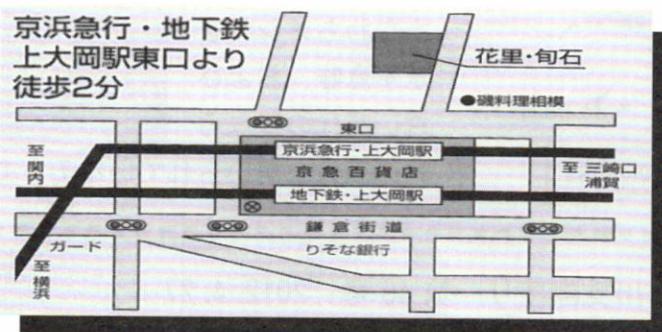
申込先 陣崎(TEL)045-974-6087

梶川(FAX)045-821-4342

E-mail: jyogakuin.kanagawa@gmail.com

申し込み〆切 5月28日(月)厳守

キャンセル 6月 1日(金)迄



2012 夏雲の集い

関東ブロック主催 ー原爆死没者追悼礼拝ー

2012年7月5日(木) 13:00~15:00

日本基督教団 横浜指路教会

礼拝・説教 横浜指路教会 藤掛順一牧師

広島女学院同窓会関東ブロックでは、原爆によって犠牲となった母校 350 名を追悼し、平和に向き合う集会として、故山本知子先生の提唱による「夏雲の集い」を 1988 年から毎年開催してきました。

今年は、同窓会役員のつながりから横浜指路教会の信者の方を通じてお願いし、礼拝を開催できることになりました。感謝申し上げます。

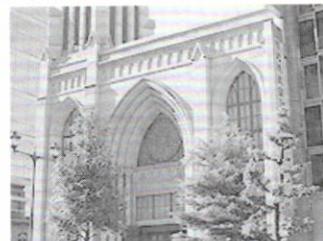
横浜指路教会には、2000 年に創立 125 周年記念事業の一つとしてパイプオルガンが設置されました。讚美歌の演奏をさせていただきます。

また、今年は俳優の山本學さんが原爆にまつわる詩を朗読していただくことになりました。

横浜指路(しろ)教会の歴史

ヘボン式ローマ字で有名なアメリカの宣教師 J. C. ヘボン (James Curtis Hepburn) が日本にキリスト教を伝道する志を持って夫人とともに来日。やがてヘボン塾で勉強していた青年たちを中心に、1874 年(明治 7 年) 9 月 13 日、教会を設立。ヘボンの母教会の名 "Shiloh Church" をいただいて指路教会とされたそうです。「シロ」は旧約聖書において、

「平和を来らす者
すなわちメシヤを
示す意味、および
古い時代の聖なる
町の両方に用いられているそうです。



広島女学院同窓会神奈川支部便り 第 40 号 2012. 4. 27

発行：広島女学院同窓会神奈川支部 支部長 梶川由紀子

ご連絡・お問い合わせ：Tel & Fax 045-821-4342 郵便振替番号：00270-4-52554